

平成30年度事業計画

1. 基本方針

平成29年の訪日外国人旅行者数は2,869万人前年比21.8%増で、JNTOの統計がでた1964年以降最多となった。査証要件の緩和、訪日旅行プロモーション等様々な要因が考えられるが、中国、韓国、台湾、香港の東アジア諸国で約73%を占め、また、中国、韓国は700万人の大台を超えた。インバウンドは2年後の東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後益々の拡大が予想される。そのような状況の中で、国内における外国人受入態勢の重要性は益々増してきているといえよう。

平成30年度は、従来通り国、JNTO（日本政府観光局）が中心となり官民一体で外客誘致促進事業を実施することになると思われるが、当財団は訪日外国人旅行者の受入態勢整備の面から国、JNTO及び地方自治体、関係団体の事業に可能な範囲で協力していくこととする。特に外国人観光案内所は新規参入も含め全国で約850箇所にもものぼっているが、当財団は外国人観光案内所の情報提供・案内業務に関して長年の経験があるので、そのノウハウを生かして、全国の案内所の範となるよう、観光案内所運營業務を中心に事業に取り組むことにしたい。一方、公益事業に関しては、潜在的訪日旅行者に対し需要を喚起するための訪日旅行誘致促進ツールの作成配布事業等であるが、昨年と同様の形で事業を行いたい。また、観光関係者のインバウンドに対する理解促進をはかるためのインバウンド専門誌、月刊「国際観光情報」発行についても、昨年と同様に作成配布する。

全体として、外客誘致促進及び受入態勢整備業務全般に関し、可能な協力支援業務を行うことで、引き続き観光立国に向けて貢献していくこととする。あわせて、国際観光に関する関連書籍の出版販売事業等も行うこととする。

2. 事業計画

(1) 公益事業（外国人旅行者の誘致促進及び受入態勢整備協力事業）

① 訪日旅行誘致促進ツールの作成配布：

外国人旅行者に対し情報提供・案内の現場となる国内の認定案内所を海外において周知させ国内各案内所の利用促進を図ることとし、このため、認定案内所関係情報付き英語表記日本全図を作成し、JNTOの海外事務所を通じて海外のジャーナ

リスト、友好クラブ会員のほか、日本語学校生徒、また、一部国内主要空港案内所を通じて訪日外国人旅行者にも配布する。また、日本の観光魅力をアピールするツールとして、日本の観光地を紹介する卓上カレンダーを作成し、潜在的訪日旅行者に対する需要喚起を促すこととする。

② インバウンド専門誌月刊「国際観光情報」の作成配布：

インバウンドに対する関心は益々高まってきているところである。本年度も月刊「国際観光情報」を毎月250部作成、インバウンドに深い関心を持つ地方自治体、観光関係団体、大学等に提供、配布し、インバウンドへの理解促進をはかり、あわせて国内における国際観光関係者の層の拡大、強化をはかることとする。

(2) 外国人観光案内所の運営事業

訪日外国人旅行者への情報提供・案内業務は受入態勢整備のなかで特に重要である。大幅な伸びを示した旅行者数に比例し外国人観光案内所を訪れる旅行者の数も増大、それに伴いその質問内容も多岐にわたっている。本年度も当財団は、成田国際空港第1ターミナル到着ロビー、同空港第2ターミナル到着ロビー、東京駅丸の内北口および新宿駅新南改札の訪日旅行センター内で観光案内業務を受託し運営を行う。尚、三越銀座百貨店からの受託運営事業は、諸般の事情により3月31日をもって終了した。各案内所の状況は以下の通りである。

① 成田国際空港第1ターミナル到着ロビー：

外国人向けの案内情報コーナー **Visitor Information Center** は昨年9月に完成し、当センターのカウンターは装いも新たになった。

② 空港第2ターミナル到着ロビー：

日本の表玄関で、第1ターミナル到着ロビーは1日500人位、第2ターミナル到着ロビーは1日700人、多い時は1,000人を超える。日本で旅行者が初めて接する場所で日本の第一印象を左右する重要拠点である。ここでは都内各地への交通、通信、宿泊、旅程等あらゆる質問に対応している。また、情報提供・案内業務以外にも、困りごと、落し物等の相談や、ビジットジャパンキャンペーンの広報、その他の総合的な情報も提供し日本の顔となっている。

③ 東京駅丸ノ内北口訪日旅行センター内：

1日200人から300人位。全国に向けて旅行する起点となっており、旅程の作成やジャパンレールパスの交換とチケット、宿泊、両替など一体のサービスを提供できることになっているので、旅行者にとって、大変便利な場所となっている。

ここを起点に都内だけでなく、全国の観光地、交通、通信、宿泊、旅程から困りごと等訪日旅行者からのあらゆる質問・要望に対応できることがこのセンターの特徴であり、利用者からは感謝の言葉が寄せられ好評を博している。

④ 新宿駅新南改札訪日旅行センター内：

平成26年12月20日開設、その後ミライナタワーの開業、バスタにより周囲の利便性が一段と上がった。それとともに来訪者は急激な増加を示し1日約200人～300人となった。その対応のため、株式会社びゅうトラベルサービスの依頼を受け、受託業務費を増額、平成29年4月1日より1名増員し2名体制とした。

モットーは「私たちはニッポンの顔、どんな小さな相談にも真摯に対応」

(3) その他事業

①出版事業：

当財団は観光関係者や大学等とも緊密な協力関係にあり、国際観光に関する観光関連書籍を出版販売しているところである。本年度も観光関係者からの要望の強い以下の書籍を出版する。また、これまでに出版した書籍の販売についても、需要があれば適切に対応することとする。

「JNTO日本の国際観光統計」

「JNTO訪日旅行誘致ハンドブック」

②国際観光に関連する調査事業

観光に関連する調査を実施する。

③その他

八重洲口外国人観光案内所に関しては設立に向けて引き続き協力することとする。また、外国人案内業務やインバウンドに関心ある自治体や企業等からのインバウンド業務問合せが増えており、必要に応じて相談対応することとしたい。